安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道４５号　原町（はらまち）地区電線共同溝（直轄） （宮城県仙台（せんだい）市）
事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



事業の必要性」

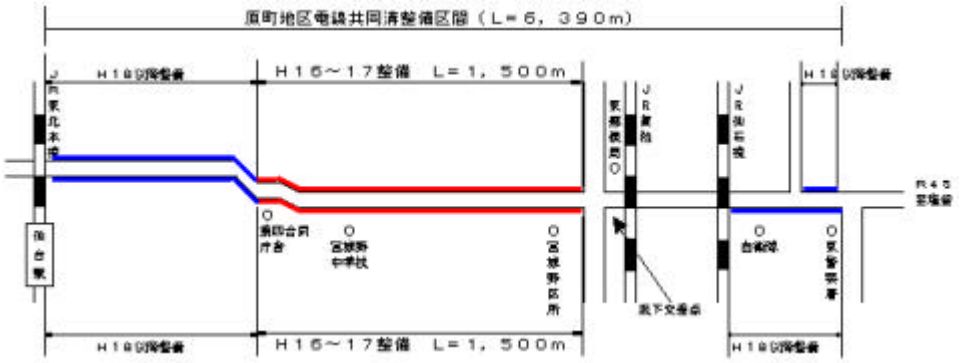
一般国道４５号は仙台市中心部において一般国道４号、４８号等と連結する重要な幹線道路であり、仙台市の物流、経済活動において重要な役割を果たしています。仙台市東部に位置する原町地区も４５号沿道において商店、住宅、マンション、官公庁等が連担し、電力、通信等の需要が高い地区です。一方で、歩道上には多数の電柱類が存在し、地震等災害発生時に、電柱の倒壊、電線の切断等による道路交通、歩行空間の阻害、それに伴う避難、救助活動への支障等が懸念されます。

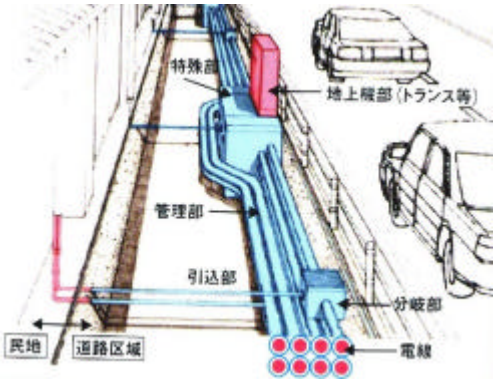
当該地区は電線共同溝の整備済み区間の延長上に位置し、災害に強い安定したライフラインの確保、また快適な歩行空間確保の観点からも、無電柱化の必要性が高い区域となっています。

事業の概要」

原町地区電線共同溝は、災害時に安定したライフラインの確保を図るとともに、道路の掘り返しに伴う道路交通への影響を縮小し、併せて快適な歩行空間確保を目的とした延長６，３９０ｍの電線共同溝整備事業です。

▼ 位　置　図





▲ 電線共同溝イメージ



▲　現　　況

平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：587百万円
○L=1,500m(上下線)の施工を進め、完成を図ります。

事　業　効　果

○災害時に安定したライフライン（電気・通信等）の確保
○安全で快適な歩行空間の確保
○都市景観の向上